

# 活動報告

令和4年7月～令和5年4月

末吉の活動は地元の方々や関係各位のご尽力により支えられております



河川敷キャンプ「Kawaoto」に参加



消防本部・中央消防署付帯施設の内覧



文化財子どもガイドの再開



大規模林野火災初動対応訓練の視察



仮設斎場の内覧

## 足利市で自動運転実証実験を実施

市議会一般質問で継続して提言をしてきた自動運転の導入が、いよいよ具現化して参りました。栃木県の実証実験 ABC プロジェクトの対象となり、実際に自動運転車両が足利の中心地を走行しました。

実験は2023年3月18日～27日に行われました。自動運転のレベルは2（運転手あり）でJR足利駅、東武足利駅から足利学校、鏡阿寺等の観光地を回るルートを走行。車両は電動小型バス NAVYA ARMA で最高時速20km、最大乗客は7人です。足利は主要幹線道路や中橋のような橋梁、一方通行や石畳舗装された道、観光客が多いエリアなど、バリエーションに富んだ難易度の高いコースです。期間中は大きな事故もなく、実験を終了したそうです。実験から得られた課題やノウハウは、市にも共有されるとの事です。予算、技術、法令等様々な課題もありますが、実装を目指し、これからも提言を続けて参ります。



▲詳細

実現しました

## 朝倉・福富運動場のサイン設置

朝倉・福富運動場（わたらせ健幸緑地）は本市の渡良瀬川南部地区で唯一、ウレタンチップのウォーキングコースを備えた、6.9haに及ぶ広大な運動公園です。総事業費約4億円を投じて拡張・大規模改修を行った経緯があります。さて、同公園に対する私の考えは「せつかくお金をかけて整備したのだから最大限の効果を出しましょう」というところです。一般質問でも①アクセス道路の整備や案内サインを設置して利用しやすい環境整備と、②雑木等を刈り払い水辺ならではの親水護岸等の整備を訴えてきました。今回は①の案内サインが設置されました。幹線道路である県道40号線の東進、西進両側に公園を示すサインができました。引き続き、利用者を増やし、多くの方の健康増進、スポーツ推進、更には新たな賑わい作り等に寄与できる公園に向けた提言を続けていきます。



▲詳細

実現しました

## 市議会の議案ネット公開開始

2022年9月議会からネットで市議会定例会の議案が見られるようになりました。これまで紙資料で見ることができましたが、資料が膨大かつ持ち帰りできないため公開性が低いと感じ、議会改革推進協議会で要望しておりました。実現にご尽力いただいた皆様には感謝です。

実現しました



関東若手議員の会の視察研修



とちぎ国体各種競技の視察

## 令和4年6月議会 一般質問（令和4年6月8日）

### 社会変化に応じた柔軟な運営 ～子育てサロン～

【末吉】不安を抱える出産直後の保護者や地域になじみのない保護者にとって、情報交換や仲間づくりの場は貴重。本市では子育てサロンがその役割を担ってきたが、現状と課題をどう考えるか。

【健康福祉部長】コロナ禍の影響などにより利用者は減少傾向にあるが、相談件数は増加している。多様化するニーズに対応できていないことや、サロン相互の連携が図れていないことが課題。

【末吉】社会情勢に合わせて内容や対象を変えるなど、あり方を検討する時期に来ている。市が各運営団体などと意見交換や情報交換を行うべき。

【健康福祉部長】あり方について検討をしていきたい。本市運営の10か所について合同交流会等を行っていく。

#### <末吉の主張>

子育てしやすい環境を目指して、サロンをはじめとした既存の制度をアップデートしていく必要がある。意見・情報交換をもとに、より良い方向に舵を切って欲しい。

### 生かし切れていない木村邸、物外軒、白石山房

【末吉】物外軒、白石山房、旧木村輸出織物工場と木村浅七元邸は利用者も少なく、管理に十分な予算が計上できていない。民間の提案で商用利用を促したり、貸館として利用の幅を広げるなど、更なる活用を進めるべき。

【産業観光部長】文化財を磨き上げ活用するために、関係課や民間の方々とこれまで以上に連携を図っていく。

【末吉】歴史資源を客観的に評価することが重要。木村邸と旧大久保分校の登録有形文化財への申請が必要ではないか。

【教育次長】市の活用方針や登録文化財とすることの意義について、建築専門家の意見を伺いながら研究したい。

#### <末吉の主張>

文化財は着実に老朽化していく。歴史を活かしたまちづくりを早急に進める必要がある。



▲詳細



壁の剥落など老朽化が進む木村浅七邸

## 令和4年9月議会 一般質問（令和4年9月9日）

### 新型コロナで疲弊した市民力を救え ～地域コミュニティの維持・強化～

【末吉】本市には八木節をはじめ10の市指定無形文化財があり、釋奠やベタンコ祭など伝統行事として残る6の民俗文化財がある。なり手不やコロナ禍による活動自粛で存続が危ぶまれているものもあるが、聞き取りや記録を残して保存と継承に努めるべき。

【教育次長】無形文化財は各団体に聞き取りを行っている。民俗芸能大会などでデジタル動画として記録していく。

【末吉】自治会等の地域コミュニティも、なり手不足やコロナ禍によってノウハウや経験が受け継がれず弱体化している。エリアや組織を限定したサンプリングなどで現状を把握し、根拠に基づいた政策立案をすべき。

【生活環境部長】実態把握のための有効な方策だ。自治会長連絡協議会の意見を聞きながら検討する。

#### <末吉の主張>

コロナ禍による市民力へのダメージは大きく、ポストコロナでそのほころびは確実に顕在化してきている。真剣に考え、有効な手を打つ必要がある。

### スマート農業の推進 ～農業振興～

【末吉】足利市でもAIやICTを活用して効率的に農作物を管理し、コストを抑え、収益を上げていくスマート農業の積極的推進が必要。近隣では茨城県常総市がアグリサイエンスバレー事業を進めているが本市の考えや方針は。

【産業観光部長】スマート農業技術は有効な手段の一つ。導入事例の検証を県農業振興事務所と協力して進め、農業者に対する情報共有や導入の推進を図る。



常総市のアグリサイエンスバレー事業

#### <末吉の主張>

農業産出額や農地面積が大きくない本市だからこそ、あらゆる技術の積極的導入を検討すべき。

◆「子ども医療費助成制度」「新型コロナ後遺症」「新型コロナワクチン接種の副反応」「ICT機器を活用した学校運営」等についても質問しました。



▲詳細

▶詳しくはホームページの議事録等をご覧ください